





NATAKA no.52

那須高校タイム

授業で育てたジャガイモを提供
地域の子ども食堂へ

那須高校の生徒たちが理科の授業の一環で育てたジャガイモを、町内で子ども食堂「ザ・テーブル」を運営する国武さんへ提供しました。

今回のジャガイモ栽培は、植物が光合成などの働きをとおしてどのように成長していくのかを学ぶために取り組んだものです。生徒たちは実際にジャガイモを育てながら植物の成長について学び、収穫後はジャガイモに含まれる成分の性質や化学反応を調べる実験にも活用しました。

そして、実験に使用した分を除いて収穫できたのは、なんと60キロ以上。せっかくなら生徒たちが手間をかけて育てたジャガイモを地域の皆さんにも役立ててもらいたいと、子ども食堂「ザ・テーブル」へ提供することになりました。

「ザ・テーブル」の国武さんには、これまで「那須まち人物図鑑」にも登場していただいており、今回の提供も、これまで築いてきた那須高校と地域とのつながりから実現しました。

授業のために育て始めたジャガイモが、実験という学びだけで終わらず、地域へと渡り、今度は子ども食堂の食材へ。生徒たちが一生懸命育てたジャガイモが、子ども食堂でさまざまな料理に生まれ変わり、多くの子どもたちに味わっていただけたらうれしく思います。

学校での学びが、地域とのつながりへと広がった今回の取り組み。那須高校ならではの、地域とともにある学びの一つとなりました。

遊行会と歩いて、見て、知る。
芦野の歴史と文化を学ぶ

9月10日、リゾート観光科1年生が地域学習および実習を行いました。「芦野の里案内ボランティア遊行会」の皆さんにご協力いただき、那須町芦野地区を歩きながら、地域の歴史や文化、観光資源について学びました。

午前中は3つのグループに分かれ「歴史探訪館」「石の美術館」「丁子屋」を見学。それぞれの施設で説明を聞き、芦野ならではの魅力に触れました。

昼食後は5つのグループに分かれ、神社や寺院、天然記念物、城跡、芦野氏の墳墓などを巡りました。身近な場所にもさまざまな歴史が残されていることを知り、生徒たちは熱心に説明に耳を傾けていました。









生徒からは「もっと地域のことを知りたい」「普段見過ごしていた場所にも歴史があることに驚いた」といった声も聞かれ、充実した学びとなりました。

自分たちが暮らす地域を知ることは、その魅力を伝えるための第一歩です。今回の気付きを、これからの学習や地域での活動へとつなげていきます。

（コーディネーター 佐藤達夫）

栃木県立那須高等学校
那須町大字寺子乙3932-48　TEL／0287(72)0075
tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と
高校魅力化コーディネーターが共に作るページです